

### 第3回鳥取県地域職業能力開発促進協議会議事概要

開催日時 : 令和5年11月2日(木) 午後2時から3時30分

開催場所 : 鳥取労働局大会議室

出席者 : 委員17名

小林 一	鳥取大学
西本 行克	一般社団法人鳥取県経営者協会
米田 裕子	鳥取県商工会連合会
江口 真也	日本労働組合総連合会鳥取県連合会
千原 雄史	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支部
草野 雅昭	鳥取県立産業人材育成センター
小林 達広	鳥取県私立学校協会専修各種学校部会理事
小林 靖尚	鳥取県職業能力開発協会
幸泉 和恵	株式会社建築資料研究社(代理)
荒田すみ子	鳥取県商工労働部雇用人材局
北川 泰子	鳥取県立鳥取ハローワーク(代理)
松田 繁	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
内藤 修治	株式会社パソナ パソナ山陰支店
藤原 一充	鳥取短期大学
福田 豊	鳥取公共職業安定所
平川 雅浩	鳥取労働局
勝部健太郎	鳥取労働局

平川労働局長あいさつ

荒田雇用人材局長あいさつ

#### 議事

- 1 鳥取県地域職業能力開発促進協議会設置要綱及び令和5年度鳥取県地域職業訓練実施計画の改正について  
事務局から提案⇒承認

## 2 ハロートレーニング（公的職業訓練）の実施状況等について

事務局から

訓練機関別実施状況と分野別の応募倍率、就職率について説明

鳥取公共職業安定所から

訓練コース定員充足に向けた取組み、訓練修了者への就職支援について説明

鳥取県立産業人材育成センターから

令和4年度の職業訓練実施状況と令和5年度の取組み状況について説明

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支部から

年度別の受講者の状況について説明

## 3 地域の人材ニーズの把握について

鳥取県から、

令和5年度に実施しているリスキング施策として、リモートワーカーの育成・実践事業、オンライン学習受講促進事業、アウトリーチ型人材育成サポート事業について説明

## 4 訓練効果の把握・検証について

事務局から

公的職業訓練ワーキンググループにおけるヒアリング結果について報告

ヒアリング対象：訓練実施機関、訓練生採用企業、訓練修了生

対象とした分野：介護分野及び保育分野

### 【介護系訓練】

・訓練実施機関からの意見

コミュニケーション能力を高めるカリキュラムと企業実習の充実の強化が必要

・訓練生採用企業からの意見

感染症対策は5類移行後も継続している。

業務の中でPC、タブレットの使用頻度の増加が今後見込まれる。

コミュニケーション能力は介護業務の前提である。

・訓練修了生からの意見

訓練を受講する前に適性と体力に対する不安があった。

現場とのギャップの解消のために実習が大事

- ・ヒアリング結果を踏まえた今後の対応

- 訓練希望者の不安の解消のために説明会を開催し、介護事業所の人材確保の取組み状況などの実情もふまえて適切な情報を提供していく。

- コミュニケーション能力の向上や基礎的なデジタルリテラシーに係るカリキュラムの重要性について訓練実施機関と情報共有を図る。

- 企業実習・見学については積極的に実施するよう実施機関に依頼する。

#### 【保育訓練】

- ・訓練実施機関からの意見

- 就職意欲の低い訓練生が見受けられる。

- ・ヒアリング結果を踏まえた今後の対応

- 募集段階での適切な周知、訓練説明会等の活用、就職支援について各機関が連携して対応する。

### 5 令和6年度鳥取県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）について

事務局から提案⇒承認

#### 【提案内容】

訓練希望者の不安の解消など、ワーキンググループのヒアリング結果をふまえた受講勧奨を強化する。

委託訓練について、開講時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等受講率向上のための取組みを行う。

デジタル人材の計画的な育成が必要なことから、引き続きニーズに沿った効果的な訓練コースの設定を行う。